

## 2016熊本地震 ～震災でつながる人と人との絆～

熊本地震で被災された皆様にお見舞い申し上げます。震災から早2ヶ月経ち精神的にも、また自分の周りに目を向ける事が出来るようになってきたようです。今まであたり前すぎて目にも留めなかった景色や人と人との繋がり、あったはずの物が取り壊されたり、大きな被災を受けた状況を目の前にすると心が痛みます。一日も早い復興を願い、地味に頑張るばい!!熊本!!



上絵は、阿蘇の玄関口として明治以降の地域経済社会に大きく貢献した象徴的な阿蘇大橋のスケッチです。直上流側には風光明媚な数鹿ヶ滝もあり、残念ながら4月16日未明、未曾有の大地震で落橋。今は、重要な交通の結節点である南郷谷への架け橋の復旧と復興を願うばかりです。H/N

## 身近な環境への思い

### 水前寺公園の水辺の亀石

熊本市は、世界の都市(人口50万人以上)で唯一水道水源を100%地下水だけでまかなっている都市です。「世界一の地下水都市」とも言われていますが、今回の地震では「飲み水」「炊事の水」「トイレの水」「風呂の水」「農業の水」など熊本の「水」は生活の中で当たり前存在であり、如何に贅沢に費やしていたのかを認識させられました。特にトイレの水の消費量です。普段のレバー操作で流れる量の贅沢さを感じたところでした。

また、水前寺成趣園も水位の減少が視られ、水辺の亀石(景石)も頭・手足・尾の添え石を見ることができました。先人の隠し味的な所ですが、皆さんご存知でしたでしょうか?A/T

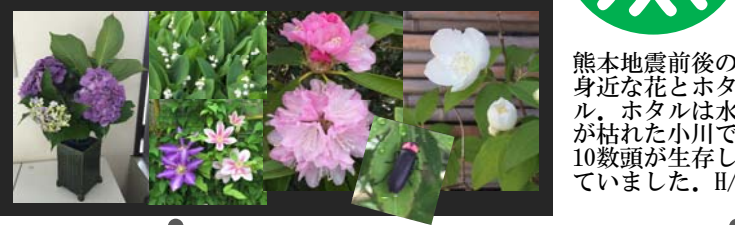


### キジバト

キジバトが会社玄関横のコナラに地震後の5月中頃から巣を造り、今抱卵中。余程このコナラが気に入ったのか、この場所に巣を作るのは3度目。人が出入りする場所に為合(しあわせ)を運ぶキジバトに感謝。何だかうれしくて、ついつい覗いてしまうんですが、しばらくは、横目でチラ見ながらヒナが孵るまで見守りたいです。昼夜問わず子孫を残すハトさんに頭が下がります。T/B



## あの故郷の風景をもう一度・・・



### ヤマメの教え

4月13日、リフレッシュ休暇で久しぶりに五家荘へヤマメ釣り。ところが淵毎にヤマメが水面近く浮かんでいる。40年近くの釣り経験でこの光景は初めて。帰宅途中に二本杉峠の東山商店でウドンを食べながらヤマメの不思議な行動を女将に話した。その翌日から前震と本震が発生。自然界に生きる動物たちの察知能力はすごい。今思えば熊本地震の前兆だったのか?H/N

### 無私の日本人(磯田道史氏)を読んで

左記の磯田道史氏(歴史学者)の本を読み感銘。近い将来、大陸より貧しい日本が、室町時代以来、500年ぶりに現れる。子供等へ教えた「無名の江戸人に濁ったものを清らかなほうへ変える浄化の心と天地万物一体の心と(仁)」の記述が印象的でした。一度読んで貰いたい本です。H/N

## Human Architectur

### HTBとは???

HTBの文字を見ると、高力ボルトのことを思い浮かべる人もいると思いますが、世間一般ではハウステンボスのことです。今の時期は日傘と雨傘の準備が必須ですが、紫陽花と野外ステージでの生演奏がとても心地よかったです。M/T



### ヒッチコックの世界

県北の長洲港フェリー発着場傍に新しくできた緑地公園は、広場やベンチ・トイレ等施設を備えており、のんびりと海や雲仙岳を眺めながらゆったりと過ごせる憩いの場所となっています。ここにはいつも数百羽のカモメが群れており、恋人や親子連れでカモメに餌を与えている光景がよく見られます。子供の投げた餌に多くのカモメが乱舞したため、怖くなってお母さんの元へ必死に走る微笑ましい子供の姿がありました。決してカモメが子供を襲っている訳ではありません。ただこの光景をみて、アルフレッド・ヒッチコック監督の映画で「鳥」が人間に襲いかかる恐怖シーンを連想してしまいました。皆さんも現地ですりくとサスペンスドラマを味わってみませんか?B/I

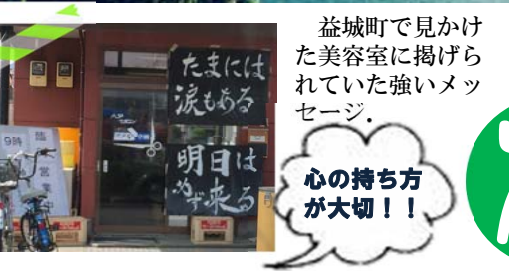


**【お知らせ】** 2016・3・2  
地質学登録しました。

## 熊本城再建へ一歩ずつ

加藤清正公が築き、日本三大名城の一つでもある熊本城。今回の熊本地震では、「熊本のシンボル」にも大きな被害をもたらした。しかし、6月からは夜のライトアップも再開されており、日本の「匠の技」を最終し、修復された熊本城を見たいと願う。I/O

## 【たまには涙もある 明日は必ず来る】



## 身近な土木文化への思い

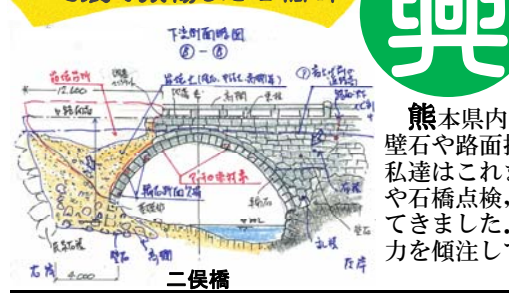
### 熊本鋼橋(No.6)

今回は、布田川断層で被災した平成13年竣工の大切畑大橋(5径間連続非合成曲線鋼桁橋)の話。地震被害は、全ての支承(ゴム)と落橋防止装置のケーブルが切断、橋軸直角方向に約90cm程度移動。主桁端部のフランジ&ウェブは、ねじれが生じているが主桁やその他の部材の影響なし。一方橋面の伸縮装置全壊で舗装面や高欄は殆ど損傷がなし。橋脚基部に複数の大きなひび割れが発生し下部工が大きく揺れたと思われる。阪神淡路大地震の後に改訂された平成8年道路橋示方書では、落橋防止ケーブルの設計地震力は死荷重の1.5倍であり、レベルIIクラスの地震では絶対切れない強度を持っているはずである。今後解明されると思われるが、レベルII以上の地震力が働いたとも考えられる。現場では、今でも橋の悲鳴が聞こえてくるような気がした。1日も早く治療をしてやりたい。N/S

## 自助・共助・公助の必要性

御所浦町は、天草上島南の不知火海の沖合に位置し、養殖・近海漁業・大型船運搬業等が中心。また、全町で離島を含め大小18の島があります。島の大半が山林で海岸沿いに居住地が集中しており、土砂災害警戒区域等に該当する人家が多く見られました。特に、横浦島では小中学校が廃校となる等、少子高齢化が深刻な問題となっており、災害時に自ら避難することが困難な住民が多い等の問題を抱えております。今後は、身近に大地震を経験したことを踏まえ、限られた財源の中でのソフト・ハード対策にも限界があることから、自助・共助・公助の再認識が重要だろうと考えます。T/M

## 地震で損傷した石橋群



■後記:平成28年4月の熊本地震では県内に大きな傷跡を残しました。復興の過程をスケッチや写真で伝える機会にもなりました。水源が枯れた南阿蘇村の塩井社水源など暮らしや風景が変わった地域もあり、その現実を伝えるべきことが沢山あります。今後も皆さんへ地域復興を中心に紹介してまいります。この晴耕雨読は11名の職員の協力で発信しています。

「熊本復興」は、未曾有の大地震で被災を受けた熊本の一日も早い復興を心より願う四字熟語としました。阪神淡路大震災・新潟中越地震・東日本大震災など日本が置かれた宿命的な位置関係を知り・それに負けず、皆が助け合い、復興してきた日本人の叡智を、多くの人たちへ伝えたいと思います。

## 身近な地域復興への思い

16日未明、突然の激しい揺れにまったく動くことができず、子ども達を叩き起こし一旦テーブルの下へ。携帯の緊急サイレンと、連続的に襲う激しい揺れに心臓をバクバクさせながら公園へ避難。仲間や家族などとLINEで連絡を取り合いながら一晩過ごした事を思い出します。3.11東北大震災以後、簡単な避難道具は準備していたものの、実際強烈な地震を体験して、思いどおりにはいかず…。この日の教訓を今後の災害準備に活かしたいと思う。T/B

## 運動会の応援合戦。子ども達から熊本に大きなエールを頂きました!!

今年度の応援合戦の中に「熊本にエール!!」と言うフレーズで子ども達になり地震を受け止め、前進する姿に、大きな拍手が沸き起こりました。子ども達の元気は親や地域の人々を元気にする!!T/B

## 熊本の復興を祈って 熊本にエール!!

本震直後、災害協定先の国・県から緊急の出動依頼。直ぐに緊急体制をとり、役割分担と行動範囲等のミーティング。テレビ・ラジオ・スマホ等から被災情報や現場までのルートを確認。会議場は屋外で、魚釣り用のクーラーボックスが作戦本部と化す。

## 地震災害ではドローンが活躍しました。Civil Engineering

今年2月に点検した砂防ダムが、地震後の緊急点検時には、大規模な土砂崩れにより跡形もなく埋没、高さ10m、堤冠長50mの同ダムも手前の林道に架かる橋も見当たらず、スマホの地図を片手にこの辺りにあったはずだと、足元の崩壊土砂を見つめ、想定外のエネルギーに驚愕。これらの復旧には長い時間を要します。今回、ドローンで上空からの崩壊状況を撮影しました。地上での徒歩の限界に対し、大きな視点で俯瞰可能な空撮の威力の大切さを感じました。この資料が保全対象の人たちの安全・安心に役立てればと強く望むところです。K/S

## 震度5に耐えた平山眼鏡橋

今回の熊本地震直後に過去に復元に係わった石橋の状況が気になり、状況を見に行きました。この石橋は、最大震度5強を観測した地域にありますが、目視点検結果では変状が一つありませんでした。この石橋は写真ではわかりにくいですが、輪石の水平移動を抑える基礎対策及びカウンター石で連結一体化を図っており、これが効果を発揮し、崩壊に至らなかつたのではないかと考えます。今回の経験を基に、「何を目的にどんな対策が必要か」を判断できる技術者の「目」の必要性を感じました。K/N



熊本の石橋群は、江戸末期の社会インフラ最盛期の象徴的な土木遺構。地域と共に暮らしと共に、未来への架け橋であって欲しい。H/N